## **28 Sep**

## JAF 地方選手権・JMRC 近畿チャンピオンシリーズ Rd,7 T.S.C.O PROXES スーパーG スラローム in 名阪スポーツランド Eコース ☆優勝選手の皆様、おめでとうございます☆

☆2PD CLASS☆ 優勝:段上 泰之選手



「主催者・オフィシャルの皆様、大会の開催運営有難う御座いました。 大変楽しい時間を過ごせました。有難う御座いました。

チャンピオンとしてしっかり勝ってシリーズを締めくくりたいと臨んだ最終戦。 しかし1ヒート目をミスコース!迷いなく進んだ先が何故か通行止めで 頭が真っ白に。。。パドックでイメトレを繰り返し集中して挑んだ2ヒート目、 走行後にベストタイム更新のアナウンスが聞こえホットしました。

> 3年連続で地区戦 2PD チャンピオンを獲得出来ましたが、 これに満足せずさらなる高みを目指して走り続けます。

> > 有難う御座いました。

EnjoyGymkhana! J

☆BR1 CLASS☆ 優勝:藤林 伸吉選手

「前戦でパイロンに触れてしまったせいでチャンピオンの機会を 逃してしまったので、最終戦は TSCO に敬意を表して R1R で走る事に しました。が、R1R でも A052 と勝負できるみたいです。

2010年の JAF カップ以来、自分も履いてみたいと思って 15年、めちゃくちゃ待ちました。

TOYO さん、14 インチを発売してくれてありがとうございます。」



## ☆BR2 CLASS☆ 優勝:朝原 崇選手



「運営スタッフの皆様、エントラントの皆様、最終戦お疲れ様でした。 今回 E コースの外周をフルに使ったハイスピードでテクニカルな楽しく 走り応えのあるコースでした。自分の走りは最近絶不調なターン区間で

またしても不甲斐ない走りをしてしまいましたが今回の優勝で

満点チャンピオンを 取れた事は素直に嬉しいです。

今年も関係して下さった皆様ありがとうございました。来シーズンも 皆さんといっぱい楽しみたいと思いますのでよろしくお願いします!」

☆ LADIES CLASS☆ 優勝: 武田 とも子選手

「アンチ雨女 武田とも子です。

開幕から2戦続けて雨で惨敗した時は、絶望的でした。 その後雨が降ることなく、最後はTSCOのイケイケグルグル大好き レイアウトに助けられ、チャンピオンで締めくくりました! TSCOイズ最高ジムカーナ!



☆PN1 CLASS☆ 優勝:福尾 成泰選手



「関係者の皆様1年間お疲れさまでした&お世話になりました。 最終戦でやっと勝てました。1戦・2戦では勝てたものの、 3戦以降6戦までクルマもドライバーも調子が上がらずでしたが いろんな方のご協力をいただき調子が上がってきました。 今年はもう終わりですが、来年に向けて好調を保ちたいと思います。」

「エントラント及びオフィシャルの皆様お疲れ様でした。

第5戦から成績が低迷しておりましたが、最終戦でようやく記憶ではなく 記録を決めることができました。

なぜかいつもより肩の力が抜けていたのが勝因でしょうか…笑ただ、今年もチャンピオン様の逃げ切りを許してしまいました。 誰が居ても勝てるよう、メンタル、テクニック共に要修行ですね。 来年もこのクラスで頑張ります。

1年間ありがとうございました。そして来年もよろしくお願いします。」



☆PN3 CLASS☆ 優勝:赤沢 雄太選手



「オフィシャル、エントラントの皆様、お疲れ様でした。 今シーズンもありがとうございました。

本山さんとのチャンピオン争いは最終戦で速かった方の勝ちという状況でした。 心の弱さが出た 2 ヒート目では本山さん、オフィシャルの方々にご迷惑おかけして 申し訳なく思っております。1 本目にタイムを残せたおかげで勝てました。 思い返せば本山さんとは互いに PN3 に上がり、共に浮き沈みのあるシーズンを 過ごしてきました。チャンピオン 1 回ずつとなりましたので、他の方々も含めて 来年も楽しく勝負できるように頑張ります。」

☆BPN CLASS☆ 優勝:北村 健選手

「名阪 E コースでの最終戦、オフィシャル、エントラントの皆さん お疲れさまでした。長いコースで後半にターンセクションが 設定されていたので前半は体力を使わずほどほど走行にし、後半に 集中する作戦で挑みました! (たぶん正解・・・?知らんけど) 今年も1年間楽しく走ることができました、

全ての大会関係者の皆さんに感謝申し上げます。

来シーズンもみんなでエンジョイジムカーナ!!」



☆BC1 CLASS☆ 優勝:中山 務選手



「2戦連続開催頂きまして、ありがとうございました。 走り応えのある長めのコースを楽しみ、

運良くシリーズチャンピオンを取ることが出来ました。 来年もよろしくお願いいたします。

この場をお借りして、ファインアート、諸先輩方、

チーム員、家族に感謝申し上げます。ありがとうございました。」

※3 位は代理※

☆BC2 CLASS☆ 優勝:岩崎 玲生選手

「まだまだ暑い中、オフィシャルの皆様及びエントラントの皆様お疲れ様でした。いつもTSCOさまのコース設定が好みで非常~に楽しみにしておりました。 が、今大会直前に体のアクシデントが有りましてコース図を見た瞬間もう 絶対ダメだと覚悟しました。そこで同じ逆境を経験されている久保師匠に 相談したり、柴谷先生からも医学的アドバイスをいただき何とか完走すること が出来ました!また周囲の仲間の方々にパドック設営から脚のセッティング などなどお手伝い頂きほんとに有難うございました。

そんな皆様のおかげで、終わってみればまさかの好タイム!! これなら キャンセルしようとしていた J A F C U P にも行けそうに思えてきました。 一年間ありがとうございました。」



## ☆BC3 CLASS☆ 優勝:岡本 尚史選手



「主催者・オフィシャルの皆様、大会運営本当にありがとうございました。 シリーズ最終戦、試合開始の時点ではシリーズ3位でしたが、チャンピオンの 可能性が一縷の望みで残っている状況で臨ませていただきました。 1本目はシリーズリーダーの石田さんがトップタイムで折り返し!石田さんに、 3位になってもらわないとチャンピオンの可能性がないのに、、、、 2本目各クラスがタイムアップするのを横目に見て、キーマンとなる

シリーズ2位の辰己さんにゲキを飛ばしての2本目タイムアタック!

辰己さんに、目の前でトップタイム更新していただき、後は自分がそれの タイムを抜いて優勝するのみ!シーズン一番の走りで優勝することができました。

そして、石田さんはまさかの3位で、シリーズチャンピオンも獲得することができました。

地区戦の優勝ですが、まるで全日本で優勝したみたいに皆さんに祝福していただき、最高の結果を出すことができました。 WRX で挑んだ地区戦も、3 年連続シリーズ 2 位からようやく脱却することができました。

来年は WRX では全日本を中心に走りたいと思っており、シリーズを獲得して気持ちよく卒業することができました。

今年もシリーズを通してサポートしてくれた竹市メカ、ぬまっち夫婦、各種企業様、家族、応援してくれいてる皆様ありがとうございました。 来シーズンは違う形で臨みたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。」

